

【第8期】第8回柳瀬川・空堀川流域連絡会

全体会議事録

■開催日時・会場

日時：平成30年2月2日（金） 14：00～16：10

会場：北多摩北部建設事務所 3階第5会議室

■出席者

都民委員6名／団体委員4名／行政委員5名／事務局等7名

■議事要旨

【今後のスケジュール（案）について】

※事務局が、資料-5に基づき、今後のスケジュール（案）について提案を行いました。

- ・今期は2年前の3月3日に始まり、規約どおりでいけば任期は3月までですが、前回から地域別に分かれて意見交換するという新しい試みを始めたところなので、少し任期を延長して、本日を含めて最低あと3回くらい開催できればと考えています
- ・スケジュール案としては、第9回が平成30年4月下旬～5月連休明け、第10回が平成30年7月頃を予定しています
- ・また、分科会に分かれての意見交換の状況によっては、さらに、それをまとめるための最後の1回を追加で開催することも検討したいと考えています
- ・その後、第9期委員の公募を行っていききたい
- ・延長が難しいという委員の方は、後日、個別に事務局にお伝えください
- ・その場合でも、今期中は資料の提供等はさせていただきます

（都民委員）

第9回と第10回の間、もう1回くらいできないですか。色々そちらにも行事の予定があるのはわかっているんですけども、我々だって同じように行事はあるんですよ。ちょっと、最後にまとめるのに、これでは一番肝心なところが、時間が足りなくなってしまう気がするんですけども。

（事務局）

検討させていただきます。年度が変わって、行政委員のメンバーも一部変わりますので、その辺も相談させていただきながら考えたいと思いますので、よろしくをお願いします。

まだ、このとおりいけるかどうか、本日時点では未定ですので、とにかく任期の延長をさせていただくということ、今日みなさんにご了解いただきたいと事務局としては考えておりますので、ぜひ、ご協力をお願いいたします。

（座長）

また後で、ご意見があれば言っていただければと思います。それでは引き続きまして、お配りしている資料で、前回の議事の確認について、事務局から簡単に説明をさせていただきます。

【第7回議事の確認】

※事務局が、第7回流域連絡会での主な議事内容について、以下のとおり報告を行いました。

- ・事務的な連絡の後、情報提供として7～8月の大雨と河川水位の状況と、その後10月に大きな台風が来て相当な雨が降ったので、その時の降雨量の速報データについて説明をさせていただき、質疑応答を行いました
- ・口頭で、本年度の工事の状況を報告させていただいたが、案内図や工事図面等がなく、わかりづらいというご指摘があったので、資料を追加作成して、12月にみなさんに送付させていただきました
- ・その後メインの、三つの地域ごとのグループに分かれての意見交換を行って、それぞれのグループからご報告いただきました
- ・本日も引き続き各グループに分かれて意見交換していただく際の参考に、前回のそれぞれのグループの意見交換の要旨を、資料3の後ろに別紙1～3として付けています。また議事録本文の中でも、それぞれのグループの代表の方がわかりやすく簡潔に発表されているので、そちらも参考にさせていただければと考えています
- ・発言内容が違うなど、問題があれば事務局までお知らせください
- ・修正して、議事録の最終版とします

(座長)

続きまして次第の6、大雨と河川水位の記録について、事務局から説明をさせていただきます。

【平成29年7月～10月 大雨と河川水位の記録について】

※事務局が、資料-6に基づき、以下のとおり概要説明を行いました。

- ・前回ご報告をした時に、護岸の高さやハイウォーターレベル（計画高水位）などがあるとよりわかりやすいのではないかとというご指摘をいただいたので、そのラインを追加しました
- ・茶色の線が護岸天端高さ、水位計がある箇所の左右岸のうち低い方の護岸高を表します
- ・青い線が計画高水位、河川改修が完了して50mm対応の断面が出来上がって、計画上の流量の水が流れた時の計画水位を表します
- ・前回、時間雨量と総雨量だけの速報をお知らせしましたが、10月22～23日の台風21号時の雨量と水位のグラフを最後のページに追加しました
- ・この時は、短時間の激しい雨はなかったが、長く降り続いたために相当水位が上がり、6観測日分のデータの中で、全ての水位観測所で一番水位が上がったという結果になっています
- ・丸山橋では、青い線＝計画高水位よりも水位が上がっています
- ・護岸高よりは低いため溢れてはいないが、「溢れなかったが橋の下すれすれだった」という前回のお話を裏付けられる資料かと思えます
- ・丸山橋では、7月4日、7月25日にも、ほんの一瞬だが計画高水位に達しています
ただし、これは将来50mm対応の断面になった時の計画高水位で、30mmの暫定河床に対して時間50～60mmの雨が降っていますが、短時間であれば、これくらいでも耐えられるということが見て取れます
- ・他の観測所については、計画高水位まで達している事例はありません

(座長)

降雨と水位についてご説明いたしましたけれど、ご質問等ございますでしょうか。

無いようですので、引き続きまして、平成29年10月の台風21号による被害等についてご説明させていただきます。

【平成29年10月 台風21号による被害等】

※事務局が、資料-7に基づき、以下のとおり概要説明を行いました。

- ・10月21日～23日の台風21号による降雨に関する速報データ
- ・一昨年夏の台風9号の時に比べて、全般的には、大規模にあちこちで被害があったというわけではありませんでした
- ・金山調節池では、台風9号の時と比べると少量ですが、土砂、ゴミ、流木などが流れ込み、その処理が必要となりました。遊歩道にも、上の畑などから流れ込んで土砂が堆積しました
- ・柳瀬川の金山橋下の遊歩道の転落防止柵が倒れました
- ・一昨年も同じところが倒れたが、水位が上がって流木などが直撃する場所なので、今回は基礎部を強くするなどの補強を行いました
- ・空堀川上流の芝中調節池にかなり水が入って、土砂、ゴミ、流木が流れ込みました
- ・上流にも関わらずゴミが多く、その清掃作業が必要でした
- ・真ん中の表が、時間最大雨量と総雨量で、各観測所で総雨量300mm程度を記録しています
- ・久米川遊水池のすぐ下流、柳瀬川の二柳橋の上流右岸の護岸が基礎から崩落しました
- ・台風22号が迫っていたので、大至急、土のう積みと基礎部を袋入りの玉石で固める応急復旧を行いました
- ・今現在その状態で、本復旧の設計作業を進め、年度を跨いで出水期に向けて復旧工事を行っていく予定

(都民委員)

質問よろしいですか。「降雨記録」で、左の時間最大雨量が39mm/h rで、右の時間最大雨量というのは、これは何ですか。

(事務局)

申し訳ない、資料のミスです。右は正しくは「総雨量」です。1日ではないのですが、一回雨が途切れた後、降り始めてから23日の朝方に止んでいて、そこまで一連の時間に降り続いた雨量です。

(座長)

資料の真ん中の下の表の、一番右の方の列は、「時間最大雨量」と表記されていますけれども、「総雨量」の間違いです。訂正をよろしくお願いいたします。

(都民委員)

一回の雨で、トータルで300mm降ったということですか。

(事務局)

そうです。大体、統計上は6時間以上雨が止むと前の雨と扱います、一般論ですけれど。この時は、21日の夜から23日の朝にかけて降ったと思います。一方、例えば、先ほどの資料-6の最初のグラフ、7月4日には東大和で1時間57mm降っていますけれど、その前後は降ってなくて、その一瞬にゲリラ豪雨的に降ってまた止んでなので、時間最大雨量57mmですけれど、総雨量は100mmっていないというような、そういう雨なんです。

(座長)

少し時間が長くなりましたが、事務局の方からの資料説明は以上になります。これから、また各グ

グループに分かれての意見交換を進めていただきたいと思います。前日も、各グループごとにいろんな話が出たと思うのですが、できましたら各グループごとにテーマを絞ってお話していただければ、まとめやすいかと思います。

(事務局)

それでは今日は、東京都の行政委員は、座っているグループごとに人数のバランスを見て、散らばって入らせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。会場は、東村山さんと清瀬さんの間はパーティションを閉めます。前回、やはり我々が記録を作る時に、声が混線していたりしてましたので、武蔵村山・東大和のグループは、申し訳ないですけど、ドアを開けた目の前にもう1部屋取りましたので、そちらに移っていただこうかと考えています。「このままでいいじゃないか」という意見も、前回あったんですけども、議事録のテープ起こしとかの問題もありまして、だいぶ声も混線してましたので、そうさせていただきますと思います。

それでは、配置換えをしたいと思いますので、よろしくお願いします。

※地域別グループに分かれて意見交換

【全体報告】

(事務局)

みなさま、ご苦労さまでした。少し時間が押したんですけども、今日は丸々1時間以上、前回に比べてたっぷり時間も取れて、みなさんなかなかいいお話ができたのではないかと思います。それぞれのグループの状況について、簡単に、代表の方にご報告をいただきたいと思います。

それでは初めに、名簿の順で清瀬のグループ、お願いします。

(1) 下流：清瀬市グループ

(団体委員)

前回の、グループでの話し合いを受けて、川にある木の問題から入りまして、私の方から木の、建築ジャーナルだとかシンポジウムなんかの情報提供をさせていただいたんですけども、木にも色々な役目があるということで、そういった木の役目も、これからの河川管理の中では、ある程度それも含めて考えていったらどうでしょうか、というのが一点です。

それから、その流れを受けまして、治水と河川環境、木だけに限らず、草であったり鳥であったり魚であったりという河川環境のところも、やはり考えていかななくてはいけないのではないかとこのように話が広がりました。

その上で、じゃあ入り口はどうしたらいいかという話で、やはり水がないとなかなか緑も育たないということで、水をどうやって活用するかという話にいきまして、水についてもいろんな工夫をして、川に水を増やしていきたいということで、委員のみなさんからいくつかの事例が挙がりました。そのいくつかの中で、ピンポイントで可能なものについては、「できるところからやっつけていこうじゃないか」というような話になりました。そういったことをまた、河川の改修の断面等に活かしていく、計画の中に少しでも活かしていくというようなことで、相互に創意工夫を図りながら治水と河川環境、河川環境には木、草、川の線形、断面、そういったものを取り込みながら、できるところからやっつけていこうと。それを、次回のグループ討議の中での課題にしておきましょうというようなことで、今日の段階ではまとめられました。以上です。

(事務局)

ありがとうございます。今のお話で、特に何かご質問とかありますか。後でまとめて、各グループが終わった後にも、もう一回やりますけれど。

よろしければ、続いて2番目の東村山のグループ、お願いします。

(2) 中流：東村山市グループ

(団体委員)

本日の資料でA3の「空堀川の水量確保方法の検討」というのが配られていると思いますけれど、これをまとめられた〇〇委員の方から、一点ずつ説明がありました。これは、以前の第6期かなにかで、水量確保の方法として10項目挙がっているわけですが、それとほとんどダブっているということで。この中で北北建及び我々流域連絡会を含めて、一応対応できる項目というのが三点ございまして、下から3番目の「河床からの漏水防止」、水が滲み込んでいかなないようにして水量を維持するという点について。これは北北建さんの工事の中の範囲。それからもう一つは、「河道内貯留」というところがありますけれども、芝中調節池だとか、そういった調節池を今後どういうふうにやっついこうかということも北北建さんの範囲であると。それから、真ん中よりちょっと上、「近隣施設の水を放流」という項目がありますけれども、これは例えば、今唯一の水源、工場用水を浄水して川に流しているんですけども、そういったところを審査して許可するという作業は北北建さんの範囲であるということでした。

その他については、一番下の、根本的な「森林の保水力」とか、あるいは「雨水浸透マス」、こういったことについては、今すぐ我々ができるということではないけれども、基本的なことであると。それから、多摩川上流水再生センターの処理水、これを空堀川に持ってくるということについては、非常に現実的な方法ではあるけれど、すぐに我々あるいは北北建さんで「じゃあ、やってみましょうか」というような問題ではないと。水循環基本法をベースにした、国全体あるいは東京都全体の大きなテーマとして取り上げて実施するというような形のものになるだろうということでした。

それから、先ほど言った「河床からの漏水防止」について、提案として、現在の川を実地に、日にち、時間、場所を決めて、参加できる人で見て歩いて、どこでどういうふうに漏れているんだろうかということ調査する機会を作っていただきたいというお願いをいたしました。これについては、北北建さんの方で、一応検討していただけるということでした。

あと、今回の件ではないんですけども、委員の一人から、今河道内にある貯水ピット、あれがほとんど機能していないんですけども、これを造られた時どういう思想で造られたのか、今機能していないことに対してどういう考えを持っておられるのか、というふうなご意見がございました。東村山は、そんなところでございます。

(事務局)

ありがとうございます。では、続けて上流の方の東大和・武蔵村山のグループ、お願いします。

(3) 上流：東大和市・武蔵村山市グループ

(行政委員)

私の方から発表させていただきます。東大和・武蔵村山は、一応、最上流部ということで、今現在、空堀川の水が東芝中橋のあたりまでということ踏まえて、今日検討したのが、水涸れをなくすにはどうすればいいかという話でした。

そのためには、まず一つは、具体的にはこれまでも粘土張りということに対応しているということ、効果がないというわけではないんですけども、下流の方では思ったような効果が出ていないの

ではないかという声もあるということです。それは地下水位の関係とか色々あるんですけど、その辺で粘土張りの効果が、例えばどういう場所ではいいのか、そういったことも含めて、どこでもやっという感じではないのではないかと話もありました。そういう下流部において実施したところで検証をしていただいて、それを踏まえて、上流部の方では、さらに効果があるようなものにしていただきたいというような議論がありました。

それから、武蔵村山市は水源にもなっているということで、その水源を中心にして、今以上に水を確保するような方策がないかというようなことを議論したんですけども、武蔵村山市さんの方で、市内で地下水の調査をされているという話が出まして、一応そういう結果も参考にとりか、それを踏まえて、今後何かそういう対策を考えていくのも、一つの方法ではないかということがありました。

それから、直接、空堀川の水源ではないんですけども、武蔵村山市に番太池とか赤坂池とか、池もあるということで、今は実際には奈良橋川の方に繋がっているのではないかと話があるんですけど。元々は水田用の溜め池だったけれど、今は水田のための水は必要ないということもあって、その辺も含めて、難しいだろうけれど何か積極的にできないのかな、というような話がありました。それから、源流域ということで野山北公園もあるので、具体的な何かがあるわけではないんですけども、そういうところも活用して水源確保ということをしていけばいいのではないかと話がありました。

ただ、河川の範囲だけで議論すると、なかなか水涸れというのは対応が難しいという話になりました。やはり水涸れを考えていくには、河川だけではなくて、色々流域も含めた、先ほど話のありました水循環基本法の考えも踏まえて、もっと広い範囲で、雨水を建物に貯水とか浸透枿とか、そういったことを地道に取り組んでいくしかない。ただ、そうするためには、本当に流域の人だけではなくて、市民全体とか、行政も含めてですけども、市民のみなさんで、そういうことに興味を持ってもらって、対応していく必要がある。そういう市民の関心を高めるために、我々ができることという、川の修繕で親水性を高めるとか、水鳥とか自然のものもあると思うんですけど、そういうところもPRして、市民の関心を高める。市民の関心を高めるということで、先ほど言いましたように、川だけではなく、もっと広い流域で水を確保していくということで、なかなか時間がかかって難しい問題だと思うんですけども、そういうことで水涸れというのを考えていくしかないのではないかと、それが一番ではないかと、というような議論で終わりました。

(事務局)

ありがとうございます。今、三つのグループの発表が終わったんですけども、今ちょっと聞いて質問というのは、なかなか難しいとは思いますが、何か気づいたことなり、どうしても聞いてみたいということがあれば、お受けしたいと思うんですけども。詳しくはまた次回、今回の議事録なども確認していただいて、ということでもいいのかなと思いますので、よろしければ、本日の各グループの意見交換は終了ということにさせていただきます。どうも、みなさんありがとうございました。

最後に、今日2名の委員の方から資料をいただいております。簡単にご説明いただければと思います。それでは、最初に〇〇委員、よろしくお願ひします。

【その他】

(1)「空堀川クリーンアップ実行委員会」設立趣意書／規約について

(団体委員)

それでは申し上げます。資料が2枚です。「空堀川クリーンアップ実行委員会」設立趣意書というの

と、それから「空堀川クリーンアップ実行委員会」規約。実は、東村山では、空堀川での大きなゴミ拾いイベントということで、4月と11月の第3土曜日、去年の11月で41回、約20年やってきた。ところが、ゴミは減らないのに、クリーンアップに参加する人は、まあ凸凹がありますけれど、増えていない。そう大きく減っているわけではないですけど、増えないということで、我々NPO法人「空堀川に清流を取り戻す会」で企画立案してやっておりましてけれども、ちょっと行き詰っているということで、広く行政あるいは企業、市民団体、そういうところに声をかけて実行委員会にして、それで、その実行委員会に入っていて底辺を広げていって、人を増やすと同時にゴミ捨てを少なくするというところに向かっていこうかなということを進めておまして、後で読んでいただければよろしいんですけど、やっと実行委員会というものの枠組みができました。

事務局は東村山市の「まちづくり部道路管理課」に置く。それで、東京都の北北建にもバックアップしていただくと。それから、ある程度形が出来てきたら、実行委員長は、当会「空堀川に清流を取り戻す会」副理事長の〇〇さんにやっていただくということで、枠組みが決まりまして、これから4月の第42回に間に合うように広めていこうかなということで、やっと動き出しました。

この他にも、いくつか勧誘キットというのを作りまして、それぞれ担当者を決めて、ターゲットを決めて、動き始めているところがございます。おそらく、おいおいみなさま方の方にもお誘いがいくと思いますので、ぜひ、よろしく願いいたします。基本的には、実行委員会に入ってください、実行委員会に協力していただくということで、担当者メールアドレスをお聞きして、それぞれキャンペーンがあるごとに、実施要領とかチラシ、そういうものを送らせていただいて、広めていただいて、参加者を増やしていただく、そういう形になろうかと思えます。ぜひ、ご協力をよろしく願いいたします。以上です。

(事務局)

ありがとうございました。今のご報告につきまして、何かご質問なりご意見があれば、簡潔にお願いしたいんですけども。では、こういうことで動き始めたというご報告で、詳しくはまた今後ということでもよろしいですか。

では続いて、もう一種類資料をいただいておまして、東村山のグループの分科会では、これを基に議論が行われたんですけど、「空堀川の水量確保方法の検討」という資料になります。〇〇委員、お願いします。

(2) 空堀川の水量確保方法の検討

(都民委員)

資料の一番最後ですけども、私の方で叩き台として。今、空堀川で問題になっているのは、やはり水がなくなっているということ。水質はある程度きれいになっているんですけど、水がない。これが年々進行していったるんですね。それでまあ、その対策を考えたいということです。

左側に、「分類」というのが四つあるんですけども、一番上は「他の水源から水を持ってくる」。現状、東大和の工場の排水を高度浄化して流していただいているのが、毎日4千～5千トン、それがほとんどというわけですね。やはり、これだけではちょっと足りないのではないかとということで、一つは水道原水、二つ目は下水道の高度処理水、それから三番目が近隣施設、四番目が、これも近隣施設になるかもしれませんがJR武蔵野線からの湧水、最後は新しく地下水をポンプアップすると、一応こういう方法を考えています。

それから二つ目の大きな項目で、「雨水を溜める ゆっくり流す」ということで、一つは河道内貯留ですね。要するに、川の中に水を貯える。二番目が調節池あるいは調節槽。これは、川以外のところ

に水を貯める。三番目が建物ですね。私が考えているのはビルだとかマンション。私もマンション住まいですけど、10cmくらいでしたら貯められないことはないんですね、建物の上に。

それから、大きな項目で三番目、「浸透させない」。これはもう、河床からの漏水防止ですね。

最後は、「地下水の保全」ということで、まあこれが一番本質的な対策なんですけれども、後に書きましたように、これは効果が出るまでにかなり時間がかかる。一つは雨水浸透枘の設置ということで、現状で東村山と東大和と清瀬市については、補助金の制度があるんですけども、なかなか浸透してっていない。東村山も、もう20年やっているんですけども、7万戸のうちの、今2千戸くらいしかっていないんですね。次回までにもっと細かいデータをちょっと整理いたしますけれど。これについては、他の市の状況も教えていただけるとありがたいんですけど。それから森林の保水力、これは三つくらい考えたんですけど、河畔林と、先ほどおっしゃったように特に野山北公園のあたりですね、手入れをすれば効果があるのではないかと思いますけれども。それから三番目が、森林だとか畑地の保全。これはやはり、マンションになってしまったり、宅地になってしまったりということが、東村山あたりでもまだありますので、その辺を何とかできないかなという話はあるのですが、非常にコストがかかりますので、まあちょっとなかなか難しいのではないかなという気がいたします。

ですから、一応これをベース、叩き台にさせていただいて、次回の議論にでも役に立てていただけたらありがたいなと思っていますので、よろしく願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。ご質問というか、次回役立ててくださいということですので。

では、もう1件、〇〇さんの方から。

(3) 空堀川源流探索

(副座長)

私の方から、口頭で申し訳ありませんけれども、ご案内をさせていただきます。名称は「空堀川源流探索」。期日が2月21日水曜日。これは、私ども「空堀川を考える会」の主催でやります。その関係で、東大和市立蔵敷公民館、モノレールで上北台駅終点をさらに北に真っ直ぐ、新芋窪街道を上がった右手に蔵敷公民館というのがあります。そこに10時集合。10時7分の都営バスで武蔵村山に上がって行きまして、これは弁当、飲料持参であります。あとは徒歩で源流域をぐるっと周って、ずーっと奈良橋川もしくは空堀川を下ってきて、途中でバスに乗って帰る、あるいは元気な人は、そのまま自宅へ歩いて帰ってもらうという、流れ解散のような感じになるかもしれません。それはその時の状況で判断しますけれど。もう一回申し上げますと、期日が2月21日の水曜日、蔵敷公民館10時集合、バスで上がって、あとは源流域から下流に向かって徒歩で探索をするという催しであります。ということで、既に川仲間のみなさんにはメールでご案内をさせていただいておりますけれども、後ほど、必要な方にはメールでご案内を送信させていただきます。以上でございます。

(事務局)

ありがとうございました。イベントのご紹介でした。

(都民委員)

どこの駅で降りるんですか？

(副座長)

清瀬から来た場合は、モノレールですと、先ほど申し上げたように上北台、終点の駅です。それがわかりやすいと思います。そこから北に向かって歩いて行っていただいて。

(都民委員)

ちょっとありますよね。あそこから行った方がいいんじゃないですか、東村山からバスで。立川行に乗っていただいて、あそこはどこでしたっけ、曲がっているところ。

(副座長)

お任せします。奈良橋というところで、だから東村山の駅北口から西武バスで立川行に乗って、と細かい話になりますけれど。

(事務局)

もしご参加希望でしたら、直接お問い合わせください。

(副座長)

声をかけてください。そういう話です。

(事務局)

ありがとうございました。

(4) 次回開催予定について

(事務局)

今日予定していた議事はすべて終わったんですけど、最初のスケジュールのところでお話したとおり、今回は、一応4月末か5月連休明けを予定しています。日程を具体的にどうすれば良いか、事務局が仮に決めても、その時期は年度当初でいろいろあるので、もし決めるとしたら本当に仮になります。4月1日で我々北北建もですが、行政は体制が変わったりしますので、いつもだと1ヵ月以上前に開催の連絡をすることになっているんですけど、今回は、例えば4月末とか5月頭に決めたとして、ご連絡がもう少し直前になるということをご理解いただいた上で、その時点で、もしかしたら日程も変わるかもしれませんが、仮に日程を設定するというのであれば、今お願いしようかと思うんですがいかがでしょうか。

現時点では、開催できるとしたらゴールデンウィーク前の4月末か連休明けすぐのどちらか、と考えているんですけど、何かご意見ありますか。

(副座長)

私は、早い方がいいので連休前、4月末でやった方がいいかなと思います。

(事務局)

みなさんは、いずれにしても仮になりますけど。では、4月26日木曜日か27日金曜日のどちらかということになるんですけど。特に行政関係の方が、なかなか予定が混んで厳しい時期ではあるので、本当に仮で、4月に入ったら早々にその辺を調整して、正式にそこでやるかどうかを事務局として判断させていただきたいと考えているんですが。では仮に、本当に連休の前の日でもよろしいですか。

(副座長)

そうすると、27日の金曜日ということですね。

(都民委員)

27日は、我々はこのぼり掲揚等の行事があるので、25日か26日だと助かります。

(事務局)

それでは、今回は今までと違って確定ではありませんが、4月26日木曜日に仮決定で、ここにいる方はできるだけ予定を押さえてください。もしかしたら予定を変えさせていただくことがあり得るので、よろしくお願ひします。

(副座長)

時間は14時から。

(事務局)

いつものとおり14時で。

(副座長)

了解です。

(5) その他

(都民委員)

ひとつだけ要望を。前回の後に、今年度の工事の資料をいただいて、有難かったんですけども、これに工事金額だとかがないんですよ。石原さんが知事になられた時に「バランスシートを作りなさい」とおっしゃったんです。なぜかと言うと、「インプットはなんですか?」、例えばお金、人・物・金ですよ。じゃあ「出来上がってどういう効果があったのですか?」ということをおっしゃっていたんです。それ以来、工事看板には、工事金額、国費がいくら都費がいくら、それから数量ですよ。例えば1mあたりだとか、1㎡あたりだとか、それが必ず表示されていたんですけど、最近の工事にはないんです。例えば、資料の④「空堀川緑化整備工事及び維持工事」で、これは管理用通路とか、その脇の空き地を緑化していただけるということと、御成橋の手前の左岸に下に降りる階段を付けていただけるという。これは前回、〇〇さんが質問したはずなんですけど、何も回答がなかったですよ、あの時は。非常にいいことをおやりになっているのだから、やっぱり現地にもそれを掲示して、これをやるのにいくらお金がかかっているか。例えば、今の話でしたら、「延長何mで、1mあたりいくらです」とか、そういうことは都民に対しての説明責任だと思うんです。やっぱり税金を使ってやるわけですから、「これだけかけて、これだけのものができました」というふうに胸を張ってやっていただくためにも、ぜひお願いしたいと思うんです。今回の資料も、それがあかなと思って私は見たんですけど、金額も書いてないし、数量も書いてないし、ちょっと残念だなと思っていますので、よろしくお願いします。

(事務局)

ありがとうございます、他はよろしいですか。ではこれで、すべての議事が終了しました。最後に座長から。

■閉会の辞

※座長より閉会が宣言されました。